

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立十三小学校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

児童数 162 名、全学年単学級の小規模校である。入学から卒業まで、同じ集団で小学校生活を送っており、お互いの長所も短所も理解し認め合っているため、単学級ならではの良さが色濃く感じられる。また、地域のみなさんの学校への愛情が極めて大きく、「十三の子どもたちは我が子同然」と、昔ながらの下町情緒溢れる温かい愛情で、子どもたちの成長を見守ってくださっている。そうした地域に支えられていることもあり、子どもたちは総じて純真で、アットホームで温かみのある学級集団となっている。

一方、虐待等も含め複雑な家庭環境を背負っている児童の割合が高く、小規模校であるにもかかわらず、登校が安定しない児童の実数は少なくはない。令和7年度当初、スクリーニング会議Ⅱに挙げたり、要保護児童対策協議会に挙げたりしている児童は、1割を超える16名となっている。しかしながら、教職員の不断の取り組みにより、令和7年度末においては、年度当初よりフリースクールに通っている2名を除いては、日常的に登校を促す対応が必要な児童もいない状況であり、上記児童16名中、半数以上が改善傾向にあり、悪化傾向にある児童は0名という結果であった。ただ、家庭環境等が劇的に改善されたわけではなく、今後ともきめ細やかな支援が必要であることは変わらない。

また、複雑な家庭環境を抱えた児童の割合が高いことは、学力にも少なからず影響していると言える。本市経年調査の教科の標準化得点は、100を下回っている状況が続いており、教員の個の指導力の高さや温かい地域の支えにより、何とか踏ん張っているという状況である。加えて、昨今、日本語指導を必要とする外国籍児童の割合も高くなってきており、複数名在籍している学級も増えており、その対応も大きな課題である。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。（R7 90.6%）
- 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（R7 83.7%）

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も0.04ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も0.04ポイント向上させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の対全国比を男女ともに0.02ポイント向上させる。（R7 男子0.977 女子0.985）

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（新規）
- 教員の1か月あたりの時間外勤務時間が20時間を超える月が、教員全体ののべ月数比、25%以下にする。（R7 32.3%）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R7 90.6%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 83.7%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.005ポイント向上させる。(R7 男子0.977 女子0.985)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(新規)
- 教員の1か月あたりの時間外勤務時間が20時間を超える月が、教員全体ののべ月数比の30%以下にする。(R7 32.3%)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立十三小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。（R7 90.6%）</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（R7 83.7%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p style="text-align: center;"><b>不登校への対応</b></p> <p>毎月の不登校対策委員会を実施し、教職員間で児童の実態、課題等を共有するとともに、当該児童の関係教員を含めての外部機関（SSW、SC、子どもサポートネット、こども相談センター等）と連携、不登校支援サポーターを有効的な活用をし、不登校児童への対策を講じる。</p>	興 梶
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的回答を92%以上にする。（R7 90.6%）</li> <li>・「児童虐待防止に関わる研修」の研修受講シートにおける「児童虐待を発見したり、疑いがある際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を100%にする。（新規）</li> </ul>	
<p>取組内容② <b>【2 豊かな心の育成】</b></p> <p style="text-align: center;"><b>人権を尊重する教育の推進</b></p> <p>学期ごとに、人権課題に関する教職員研修を行うとともに児童の実態と課題を教職員間で共有する。また、児童の発達段階に応じた福祉教育を学年ごとに行い、できないことやわからないことがある友だちに対して、相手の気持ちを考えた言葉かけや接し方をしようとする態度を育てる。</p> <p>いじめについてはいじめアンケートの結果をもとに聞き取りを確実に行うとともに、問題が発生した場合は教職員間で情報を共有し早期の解決をめざす。</p>	田 河
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査における「自分のことを大切にしている」に対する肯定的な回答を93%以上にする（R7 92.2%）。また、「友だちのことを大切にしている」に対する肯定的な回答を98%以上にする（R7 97.9%）。</li> </ul>	

取組内容③【2 豊かな心の育成】  
キャリア教育の推進  
体験的な学習の充実を図り、より深い学びにつなげることで、児童の自己有用感や自己肯定感を高める。

四  
ツ  
谷

指標  
・体験的活動として学校行事や校外学習、出前授業や福祉学習などを計画的に実施し、校内調査における「体験学習では、新しいことや知らなかったことを勉強できた」に対する肯定的回答を96%以上にする。(R7 95.0%)

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立十三小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</li> <li>○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.05 ポイント向上させる。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況																																			
<p>取組内容④ <b>【4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p><b>基礎学力の向上</b></p> <p>R 7 経年調査の校内平均正答率と大阪市平均正答率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">国語 <small>(話すこと・聞くこと)</small></th> <th colspan="2">算数 <small>(データの活用)</small></th> </tr> <tr> <th></th> <th>校内 (%)</th> <th>大阪市 (%)</th> <th>校内 (%)</th> <th>大阪市 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年</td> <td>77.8</td> <td>73.6</td> <td>80.6</td> <td>70.8</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>65.8</td> <td>61.8</td> <td>65.3</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>75.6</td> <td>79.9</td> <td>53.8</td> <td>63.5</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>84.8</td> <td>87.9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td><b>76</b></td> <td><b>75.8</b></td> <td><b>66.6</b></td> <td><b>66.8</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>年度当初の研修で「話すこと・聞くこと」や「データの活用」の指導計画を可視化し、学期ごとの進捗確認と共有を通じて、次年度に向けた組織的な学力の定着と授業改善を図る。</p>		国語 <small>(話すこと・聞くこと)</small>		算数 <small>(データの活用)</small>			校内 (%)	大阪市 (%)	校内 (%)	大阪市 (%)	3年	77.8	73.6	80.6	70.8	4年	65.8	61.8	65.3	66	5年	75.6	79.9	53.8	63.5	6年	84.8	87.9			平均	<b>76</b>	<b>75.8</b>	<b>66.6</b>	<b>66.8</b>	古賀
	国語 <small>(話すこと・聞くこと)</small>		算数 <small>(データの活用)</small>																																	
	校内 (%)	大阪市 (%)	校内 (%)	大阪市 (%)																																
3年	77.8	73.6	80.6	70.8																																
4年	65.8	61.8	65.3	66																																
5年	75.6	79.9	53.8	63.5																																
6年	84.8	87.9																																		
平均	<b>76</b>	<b>75.8</b>	<b>66.6</b>	<b>66.8</b>																																
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における、国語「話すこと聞くこと」の項目、算数「データの活用」の項目の大阪市平均正答率に比較し、校内平均正答率を国語、算数ともに1%向上させる。</li> <li>（R7 国語「話すこと聞くこと」 →大阪市平均正答率と比較し 0.2%高い。 算数「データの活用」 →大阪市平均正答率に比較し 0.2%低い。）</li> </ul>																																				

<p>取組内容⑤【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p style="text-align: center;"><b>「主体的・対話的で深い学び」の推進</b></p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の推進を行うため、総合的な学習の時間や各教科の学習で学びのめあてをもち、他者と協働して多様な考えを認め合ったり、よりよい解決策についての考えを深めたりして、主体的に学ぶ児童を育てる。</p>	寺 西
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対し、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(新規；4年間で毎年の結果を上昇させていく。)</li> </ul>	
<p>取組内容⑥【5 健やかな体の育成】</p> <p style="text-align: center;"><b>体力・運動能力向上のための取り組みの推進</b></p> <p>ゲストティーチャー事業や出前授業を活用し、外部講師の授業を受けることで、普段運動することに苦手意識のある児童も楽しんで運動に参加できる機会を設ける。また、体育の取組みを充実させるために「かけ足チャレンジ」「短縄チャレンジ」を実施し、寒い時期に外に出て体を動かす機会を設け、体力の向上につなげる。</p>	國 澤
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査における、「スポーツをすることや外で体を動かすことが好き。」に対する肯定的回答を80%以上にする。(新規)</li> </ul>	
<p>取組内容⑦【5 健やかな体の育成】</p> <p style="text-align: center;"><b>健康教育・食育の推進</b></p> <p>年に3回健康生活週間を実施し、健康週間カードを活用しながら、児童・保護者共に規則正しい生活習慣を意識付ける。さらに、給食委員会の活動と連携しながら、年に2回の給食週間を実施し、もりもりカードを活用しながら、食育の推進を図る。</p>	谷
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査における、「早寝・早起きに気を付けている。」に対する肯定的回答を80%以上にする。(R7 79.4%)</li> <li>・校内調査における、「毎日朝ごはんを食べてきている。」に対する肯定的回答を97%以上にする。(R7 96.5%)</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立十三小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする（新規）</li> <li>○ 教員の1か月あたりの時間外勤務時間が20時間を超える月が、教員全体ののべ月数比、30%以下にする。（R7 32.3%）</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑧ <b>【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b></p> <p style="text-align: center;"><b>ICTを活用した教育の推進</b></p> <p>学習用端末を活用する際、児童の発達段階やその時の学習に応じて、情報の収集・整理・まとめ・表現のどの段階に特に重点を置くか、しっかり焦点化する。また、令和9年度から始まる全国学力学習状況調査のCBT化を見据えて、動画による出題や、デジタル端末上での回答に慣れるよう、デジタル教材を学習に取り入れていく。</p> <p>また、先んじて導入されている教育DXを自身にも取り入れやすいように、情報・データの共有や伝達を密にしていく。</p>	植 西
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対する肯定的回答の割合を80%以上にする。（新規）</li> </ul>	
<p>取組内容⑨ <b>【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p style="text-align: center;"><b>働き方改革の推進</b></p> <p>ICT活用による校務のさらなる効率化を進めるとともに、学校行事等業務内容を精選し、持ち帰り仕事も含めた実質的な業務削減に取り組む。</p>	西 岡
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の1か月あたりの時間外勤務時間が20時間を超える月が、教員全体ののべ月数比を30%以下にする。（R7 32.3%）</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

令和 8 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立十三小学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--